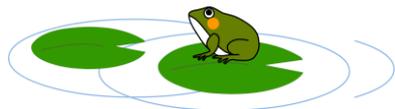


# 6月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども  
・豊かに感じる子ども  
・考え工夫する子ども

R5. 5. 31 文京区立本駒込幼稚園



## 環境を整える

副園長 西郡 千晴

4月に着任してから早いもので2か月が過ぎました。玄関前のビワの実がたわわに実り、きれいに色付いてきました。季節の移り変わりが目に見える本駒込幼稚園の自然の景色に癒される日々です。

幼稚園の教育は環境を通して行われると言われます。このような園内の自然環境はもちろんのこと、幼児にとっての環境は、保育室内、園庭、廊下やトイレ、ホール、玄関など共有スペースもあります。また、教職員自身も大きな環境であると考えます。副園長の私は、職員室から見直し始めました。新型コロナウイルス感染症対策に関わる環境がいろいろとありましたが、先月から緩和されたことにより、机上のアクリル板常設を撤去しました。それが取り外されただけで、教職員同士の心の距離も近付いたように感じました。その他、新しく着任した教員が気付いたことを声に出し、これまでいた教員がそれを受け入れたり、年間を通した見直しからアドバイスしたりしながら、今いるメンバーが仕事をしやすい環境を整えています。担任は、自分が任された保育室環境の整備に頭を悩ましています。学級の子どもたちの様子がかめてきた今、子どもたちの楽しい遊びの展開を思い浮かべて「こんな風に配置をしたら、どんな遊びが展開されるかな」と考えることはワクワクするものです。子どもたちの個々の興味や動線を考えて「面白そう」「やってみよう」という意欲につながり、思わず動き出したいくなる環境の設定を工夫していきます。環境は、再構成をすることでまた新たに魅力的な場所に生まれ変わります。今まであったものも使い次第で新たな魅力が生まれることもあります。

今年度は、前年からの継続研究「やってみよう！がいっぱいの運動遊び」のテーマを念頭に置いた見直しもしています。園庭は、体を動かす遊びを楽しむ環境として全学年の幼児が遊ぶ大切な場です。本駒込幼稚園には魅力的な固定遊具に加えて、子どもたちが自分で動かして設定できる遊具がたくさんあります。目に見えて、手に取りやすい配置を考え、ちょっとした置き場所の違いで遊具の使われ方が変わり、それに伴って体の使い方にも広がりが出ることが期待されます。

年間を通して何度も環境を見直す機会を作り、幼児の意欲を引き出す魅力的な環境から、体を動かすことが好きな子どもたちの姿がたくさん見られることを楽しみにして、教職員一同アイデアを出し合い、力を合わせて取り組んでまいります。



園庭遊具を整えました。子どもたちがどんな風に組み合わせて使うか楽しみです。